

微分の計算 2.導関数の計算

[1]

次の関数を定義にしたがって微分せよ。

$$(1) y = \frac{1}{x} \quad (2) y = \sqrt{x}$$

[2] [2015 東京理科大]

$f(x)$ および $g(x)$ は $x=a$ で微分可能な関数とする。このとき、極限値

$$\lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(a+3h)g(a+5h)-f(a)g(a)}{h}$$

を $f(a)$, $g(a)$ および微分係数 $f'(a)$, $g'(a)$ を用いて表せ。

[3]

関数 $y = (x^2 - 1)(2x + 3)$ を微分せよ。

[4]

x の関数 u, v, w について、次の等式を示せ。

$$(uvw)' = u'vw + uv'w + uvw'$$

[5]

次の関数を微分せよ。

$$(1) y = \frac{x^2}{x-1} \quad (2) y = \frac{x}{1+x^2}$$

[6]

I. n が整数のとき、 $(x^n)' = nx^{n-1}$ が成り立つことを示せ。

II. 次の関数を微分せよ。

$$(1) y = \frac{1}{x} \quad (2) y = \frac{1}{x^2} \quad (3) y = \frac{1}{x^3} \quad (4) y = \frac{1}{x^2} + \frac{3}{x^3}$$

[7]

次の関数を微分せよ。

$$(1) y = (x^3 + 1)^2 \quad (2) y = \frac{1}{(2x+1)^2}$$

微分の計算 2.導関数の計算

[8]

(1) 関数 $y = \sqrt{x}$ の導関数を、逆関数の微分法を用いて求めよ。

(2) $x = y\sqrt{1+y}$ のとき、 $\frac{dy}{dx}$ を y で表せ。

[9] [(2) 2006 関西大]

(1) n を正の整数とするととき、 $y = x^{\frac{1}{n}}$ の導関数を、逆関数の微分法を用いて求めよ。

(2) $x = y^2 + 2y + 1$ ($y < -1$) について $\frac{dy}{dx}$ を x で表せ。

[10]

I. r が有理数のとき、 $(x^r)' = rx^{r-1}$ が成り立つことを示せ。

II. 次の関数を微分せよ。

$$(1) y = \sqrt{x} + \sqrt[3]{x}$$

$$(2) y = \frac{1}{\sqrt{x^3}}$$

$$(3) y = \frac{x^2 - x + 4}{\sqrt{x}}$$

$$(4) y = \sqrt{2x - 3}$$

$$(5) y = \sqrt{x^2 + 1}$$

$$(6) y = \frac{1}{\sqrt{x^2 + 1}}$$

$$(7) y = (x+3)\sqrt{2-x}$$

$$(8) y = \frac{x}{\sqrt{x^2 + 1}}$$

[11]

x と y の関係が次のように与えられているとき、 $\frac{dy}{dx}$ を求めよ。

$$(1) x^2 + y^2 = 1$$

$$(2) \frac{x^2}{9} + \frac{y^2}{4} = 1$$

$$(3) y^2 - 2x^2 = 1$$

$$(4) y^2 = 4x$$

$$(5) x^2 + xy + 2y^2 = 1$$